

# 2008年 日本生活教育連盟第60回夏季全国研究集会

主催 日本生活教育連盟 第60回日生連夏季全国研究集会実行委員会  
後援 ~~京都府教育委員会(申請中)~~ 京都新聞社

研究主題 **「ともに生き、いのち輝く学びの60年」**

日時 **2008年8月1日(金)～8月3日(日)**

研究会場 **旅館「三木半」**

〒604-8072 京都市中京区六角麩屋町角 TEL: 075-221-5189

http://www.mikihan.com/ E-mail info@mikihan.com

8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
31日(木)								分科会代表世話人会	拡大常任委員会					
1日(金)		受付	生活教育講座	昼食	開会全体会	移動	分科会①	移動	夕食	移動	日生連会員総会			
2日(土)	受付		分科会②	昼食	分科会③	移動	実技実践講座	移動	レセプション		分科会代表世話人会			
3日(日)	受付		分科会④	移動	閉会全体会						オプション企画			

・ごあいさつ・

## ようこそ熱気あふれる京都へ！

日本生活教育連盟第60回夏季全国研究集会  
実行委員長・立命館大学教授

春日井敏之

京都の夏、日本生活教育連盟第60回全国研究集会は、新京極や錦市場の近くに位置する「旅館三木半」を借り切って開催します。「ようこそ熱気あふれる京都へ！」という歓迎のメッセージを、まず全国の皆さんにお届けします。

今年は、改訂学習指導要領告示後に開催される最初の研究集会となります。改訂では、「生きる力についての理念の共有」が強調され、「基礎的・基本的な知識・技能の習得」「総合的な学習の時間削減」「小学校高学年の外国語活動」「理数教育の授業時間増加」などが、新しく盛り込まれました。学習指導要領をどうとらえるのかと同時に、生きる力や学力形成をめぐる、私たちの実践・理論の真価が、改めて問われています。

また今日、子ども・青年をめぐるいのちに関わる出来事が、毎日のように起きています。「学力・受験・就職」をめぐる競争が激しさを増す一方で、年収200万円以下の青年層は、1200万人といわれる状況も作られてきました。こうした時代の中に、子ども・青年が抱える生きづらさの本質があるのではないのでしょうか。しかし、子どもからお年寄りまで、「人間らしい生存」が脅かされるような危機の時代は、「ひととつながって生きたい」という人間的願いが大きく膨らむ時でもあります。

日本生活教育連盟に集う仲間たちは、子どもを取り巻く問題の本質と、子どもの人間的願いの両方に焦点を当て、そこに自分の生き方を重ねながら、全国各地で実践を重ねてきました。失敗も含めて、葛藤を抱え真摯に子どもや保護者、同僚などと向き合ってきた実践を持ち寄り、「ひととつながって生きる手ごたえ」を参加者が実感し合える研究集会にしていきたいと思います。

豊かな子育てと教育の実践を紹介し交流する月刊誌『生活教育』をおすすめします

(毎月20日発行 1年定期購読 郵送料込9600円)

日本生活教育連盟 世田谷区桜2-18-18 和光小内 (03) 3420-4353 http://nisseiren.jp

## 開会全体会 8月1日(金) 13:00～15:45

13:00 開会のごあいさつ

13:15 オープニング 人形劇「死んだ女の子」「京ことばで平和を語る」  
枝松こずえさん(元人形劇団「京芸」)

13:40 現地からの報告 「社会を見つめ仲間を見つめ、つながり合うこと」  
浦島 清一(京都府公立中学校/日生連全国委員)

14:00 記念講演 「だまされない知恵～偽装社会と教育・平和」  
安齋 育郎氏(立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長・立命館大学国際関係学部教授)

あっと驚く手品や「スプーン曲げ」もお手のもの！オカルト、超能力、占い、予言、心霊現象……人が騙されないよう科学の眼で解明していく安齋先生。物事の真実を見極めるために必要な力をどう身につけていくのか。そのための教育や、平和の課題についてもお話いただきます。

## 生活教育講座 8月1日(金) 10:00～12:00

- |                  |                            |
|------------------|----------------------------|
| ①「生活教育」とは        | 中野 光(日生連顧問)                |
| ②子どもと深める命の模範授業   | 金森 俊朗(元石川県公立小学校/日生連拡大常任委員) |
| ③学ぶ意欲を育てる算数の模擬授業 | 渡辺恵津子(埼玉県公立小学校/日生連研究部員)    |
| ④特別なニーズを持つ子どもと教育 | 竹澤 清(元愛知県立高等学校/日生連拡大常任委員)  |
| ⑤あっ！こんな教育もあるんだ   | 行田 稔彦(和光学園校長会代表/日生連委員)     |
| ⑥大学の授業をつくる       | 春日井敏之(立命館大学/日生連拡大常任委員)     |
| ⑦日本の教育・京都の教育     | 和田 昌昭(立命館大学教職支援センター)       |

## 実技実践講座 8月2日(土) 16:00～18:00

- |  |   |
|--|---|
| ①「藍の生葉」でスカーフを染めよう                      | 飯沼 潤子(福知山藝同好会/元京都府公立小学校)                |
| ②簡単な「玉人形」をつくって遊ぼう                      | 枝松こずえ(元人形劇団「京芸」)                        |
| ③楽しくて夢中になる「生活科や理科の物づくり」                | 片岡 真治(元京都府公立小学校)                        |
| ④「音楽」を楽しもう～うた・つくる・つたえる～                | 廣岡 明郎(京都府公立小学校/『憲法九条五月晴れ』作詞・作曲)         |
| ⑤「紙芝居と小話」を楽しもう                         | 野間 成之(『のまりん紙芝居劇場』代表/日生連拡大常任委員)          |
| ⑥子どもの心を「手品」でつかもう                       | 玉田 豊(京都府公立小学校)                          |
| ⑦思春期の子どもとどう向き合うか～指導と支援<br>高校における特別支援教育 | 春日井敏之(立命館大学/日生連拡大常任委員)<br>谷口 藤雄(京都府立高校) |

## 閉会全体会 8月3日(日) 11:30～12:30

- 集会総括講演「ともに生き、いのち輝く学びの60年」  
行田 稔彦(日生連委員/和光学園校長会代表)
- 全体合唱

## オプション企画 8月3日(日) 午後

- 13:30 旅館「三木半」近くをバスで出発  
→立命館大学国際平和ミュージアム・金閣寺・竜安寺等の見学→17:30 京都駅前解散
- 13:30 大学教員の集い

**分科会** 8月1日(金)～3日(日)

分科会	分科会の研究テーマと予想される討議の柱	世話人候補者(太字は代表)
1 ことばと教育	<b>子どもが求める読み・書きの力</b> ①豊かな「ことばの体験」をつくる入門期・低学年の学習 ②子どもの学びを拓く「読み」「書き」の学習 ③表現から読みとる現代の子どもたちの世界 ④現代の子どもの生活や意識と切り結ぶ作品の紹介とその検討	本谷 宇一 西口 敏治 野間 成之 金田一清子 桑原 英代 近藤 秀子 鎌倉 博 川崎 陽一 河瀬 照代
2 算数・数学	<b>子どもと拓く算数・数学</b> ①学びを作り出す基礎基本の力とは何か ②子どもとともに算数・数学の学びを創る ③学びあいの中での認識の変化 ④生活と算数の結びつきと教育課程 ⑤学びを作り出す指導法と教具 ⑥確かな学びと少人数指導のあり方	関 忠和 行田 稔彦 増島 高敬 渡辺恵津子 長谷川京子 本郷佳代子 入沢 雅代 上野 久男 林 友子
3 社会科	<b>総合的な視点で子どもと共に社会を学ぶ</b> ①その実践で子どもが知りたいこと・学びたいこと ②討論・交流の場の設定と共通課題の誕生 ③この実践(題材)で子どもにつけたい「学力」 ④子どもの主体的な学びを支える教師の指導性	金森 俊朗 外山 英昭 外山不可止 下鳥 孝 岸 康裕 徳水 博志 加藤 博之
4 自然と科学・技術・産業	<b>新しい社会・地域・生活をつくる「自然と科学・技術・産業」の教育</b> ①日常生活の中で萌生する「自然と科学・技術・産業」への関心の活用 ②新しく生まれつつある社会＝共生経済との関連(社会的視点・生活の体系) ③理科・数学・技術科など取り立てた教科での「自然と科学・技術・産業」(国語科・社会科なども含む) ④大学の教育や最先端の研究とのつながり(科学の系統性) ⑤科学的概念とあそびの中でつけた力(発達構造との関連) ⑥「自然と科学・技術・産業」と社会人・地域人の実生活	加藤 聡一 中妻 雅彦 松本 達郎 伊東 裕子 田辺 基子
5 生活科学と習	<b>学び合う「価値」と「喜び」を実感できる生活科と総合学習を拓く</b> ①仲間や文化・科学とつながり生き活きと学び合いを創る生活科・総合学習 ～「価値ある学び」と「ひと・もの・こと」との出会いを探る ②「いまを生きる」子どもたちの“智”を拓く生活科と総合学習 ～「いのち」「平和」「人権」「環境」「共生」との出会いとその探求 ③豊かで確かな人格形成を支える教育課程づくりを共に ～「地域」「生活」に根ざした“学び合い”の創造	小川 修一 曾根 啓維 金馬 国晴 藤原 共子 松村 一成 迫田 実 野上ゆみ子 栗原 伸 和田 仁 谷保 裕子 熊谷 重道
6 音楽の教育	<b>生活に根ざしつつながり合える楽しい音楽教育を目指して</b> ①音楽教育をめぐる問題点と現状 ②楽しく気持ちよく歌える歌唱・合唱教材 ③わらべうたから始まる音楽教育 ④あそびながら心を育てるうたあそび教材	繁下 敏子 岡村 保子 宮武 孝太

分科会	分科会の研究テーマと予想される討議の柱	世話人候補者(太字は代表)
7 小 学 校 の 指 導	<b>「安心・自信・自由」のある親と子の参加でつくる学級・学校</b> ①「不登校・登校拒否・いじめ・暴力」等に見る子どもたちの疎外状況を克服する指導 ②「荒れる子」「キレる子」の内面と背景を大切にしたい生きる意欲を育てる集団づくり・文化活動 ③父母・地域の人々との共同による学級・学校づくり ④子どもと教師が失敗や本音を出し合い遊び心でつながれる学級・学校づくり	富山 泰正 宮城アケミ 木村 瞳 小林 幸一 木村 久男 伊藤 邦夫 阿部 賢 吉野 裕之
8 幼年教育と小学校入門期の教育	<b>幼年期の発達を保障する教育は</b> ①幼年期に体験させたい豊かな自然とのかかわりや人とのつながり ②五感をはたらかせ、ゆたかな体験からことば・表現を育む(話し言葉、書き言葉、伝え合う言葉や表現) ③このごろの子ども、生活、親、地域の実態と、共に課題を克服する手立て ④小学校入学前教育と入学後の教育の関連・連携	中河原良子 岩崎 哲郎 片岡 隆之 永田 都
9 中学高校教育	<b>中高生の発達・学力課題に迫る</b> ①生活主体を形成させる学力の中身を実践的に明らかにしよう ②支え合い・つながり合う学級づくりの実践工作を出し合おう ③子どもの参加と自治による学校づくりの糸口をさぐっていこう ④教職員の協力体制で職場の教育力をどう高めていくか	木村 勝保 両角 憲二 川上 敬二 田村 真広 浦島 清一 早野 宏樹 鈴木 恵子 久野 洋子
10 障がい児教育	<b>生活と学習の主体者を育てる障がい児教育</b> ①子どもをどうとらえるか(「問題行動」など) ②教育内容をどうつくるか(基礎的日常的な生活活動/科学や文化の学習/文化集団活動) ③「特別支援教育」の流れの中で、学級・学校・父母集団・地域をどうつくるか	竹沢 清 内藤 良一 加藤登美子 井関 美季 長江 清和 竹田 一博 久保田優美子
11 能力・発達と評価	<b>子どもたちの学びをとらえるまなざし</b> ～多様な実践に見る教師のみとり ①学習指導要領等の諸制度の改革と発達と評価をめぐる新たな課題を共有する ②子どもの学びに迫り得たいいくつかの実践報告をもとに教師の評価観を検討する ③生活教育実践史における教師による子どもの学びのとりえやみとりを改めて振り返る(60周年を機に)	藤本 和久 古沢 常雄 山田 隆幸 田中仁一郎 横山 尤子 木田 功 横田 文夫 原田 宏美 吉越 良平 前田 賢治
12 教育と子育て	<b>つながり合って育つ～子ども・教師・保護者・地域の支え合い</b> ①いじめ・不登校・荒れ・少年事件・発達障害等の捉え方と取り組み ②現代の子ども・青年の発達のゆらぎと支援のあり方 ③子どもの居場所としての学校、家庭、地域の役割(虐待問題への対応) ④学校と家庭の役割を生かした支え合いをどう図るか(援助者への支援) ⑤子ども、教師、保護者が求めるつながりの実感と教育・子育ての目的 *全体会と分科会(A.いじめ・不登校等、B.子育て・地域との共同等)	春日井敏之 森川 絃一 江口美和子 相川 充弘 高田 哲郎 山岡 雅博 小川 裕子 川崎 正美

## 参加申込み要項

### 《費用》

#### ① 参加費

教職員・元教職員.....6,000円  
 父母・学生.....3,000円

- 会場使用・大会冊子・『生活教育』見本誌・ご案内資料・運営諸経費の料金です。
- 日本生活教育連盟2007年度登録会員は500円引きです。
- 1日だけの参加の方は教職員2,500円(父母・学生は1,500円)です。
- 当日参加受付は可能ですが、会場準備の都合上事前申込みにご協力下さい。

#### ② 宿泊費

大人.....11,000円  
 小人.....6,500円  
 幼児.....2,500円

- 和室1泊2食税込みの格安料金です。
  - 7月22日(木)までにお申し込みください。それを過ぎますと、お部屋が確保できなくなることがありますので、ご協力をお願いします。
  - 前泊(31日)後泊(3日)も格安の同料金でご案内いたします。
- ※観光地京都市内ですので、他で宿舎が確保できる保証はありません。ぜひご利用ください。

#### ③ 昼食代.....1,100円

- 旅館「三木半」の昼食です。

#### ④ レセプション代

大人.....5,000円  
 小人.....2,000円

- レセプションは夕食を兼ねた交流会です。

- 楽しい出し物など多数繰り出すイベントですので、どうぞご参加下さい。アルコール類・ソフトドリンクなどの飲み物ができます。
- 8月2日宿泊の方は宿泊費に  
 大人.....2,000円  
 小人.....1,000円  
 追加いただければ参加できます。

#### ⑤ 子ども学校・保育室料.....実費

- 事前申し込みを原則とします。
- 「子ども学校」は小学生のみ、保育室は3歳以上の幼児が対象です。
- 費用の中には、おやつ代・活動費が含まれています。2日(土)のみお弁当がつきます。
- 持ち物につきましては、事前に担当より通知いたします。

#### ⑥ オプションツアー

大人.....4,000円  
 子ども.....3,000円

- 昼食代・バス代・施設入館(拝観)・講師ガイド・配布資料の料金です。

### 《キャンセル》

- キャンセルにつきましては、一定のキャンセル料をいただくことになります。キャンセルが必要になりました場合は、すぐに「JTB西日本・京都教育旅行センター担当池田」までご連絡下さい。
- キャンセル料は、2週間前以降<sup>30</sup>~~20~~%、前日当日は50%頂くことになります。
- 参加費につきましてはお返しできません。後日大会資料をお送りいたします。

### 《申込方法》 申込書をFAXにて送付の上で銀行振込願います

●銀行振込先 三菱東京UFJ銀行 千代田支店 普通5420258  
 (株)JTB西日本 団体旅行京都支店

●FAX送付先 JTB西日本 京都教育旅行センター  
 担当：池田 075-252-3117

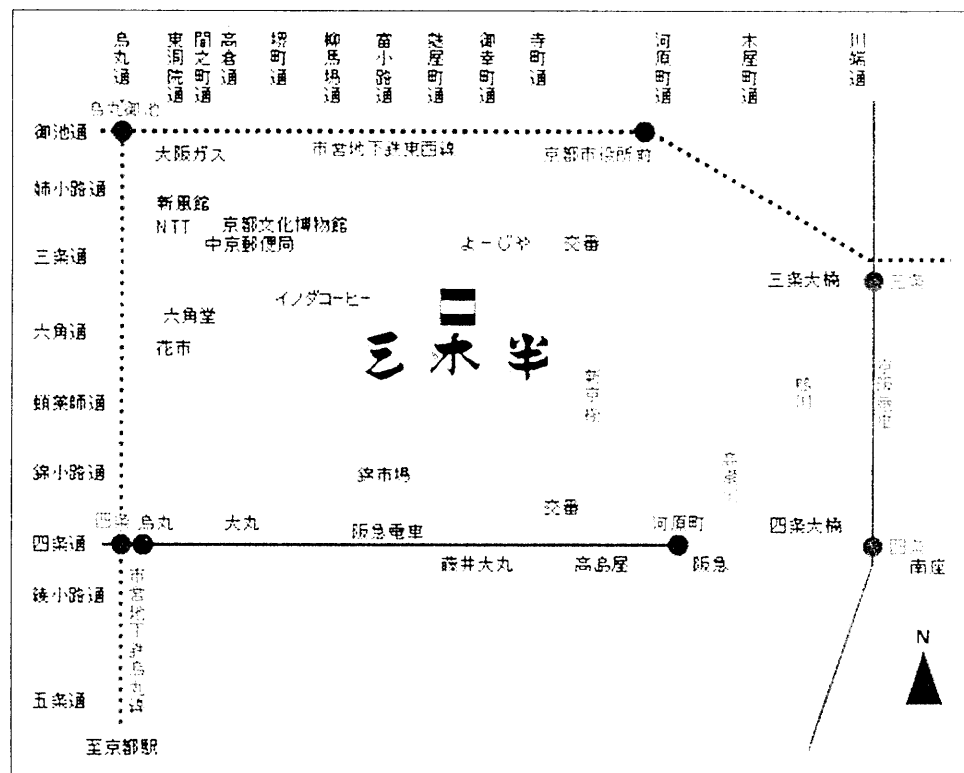
●問合せ電話 075-252-3100 担当：池田(9時30分～17時30分)

### 《その他》

- 分科会にレポート参加を予定されている方は、日生連事務局に、7月25日までにご連絡ください。  
 電話 03-3420-4353 [和光小鎌倉] FAX 03-5477-9868  
 e-mail: kamakuran@mue.biglobe.ne.jp
- レポートを郵送される方は、「日本生活教育連盟」名で、旅館「三木半」までお送りください。  
 送付先 〒604-8072 京都市中京区六角麩屋町角 TEL 075-221-5189

### 研究会会場案内

京都市街地中心部のために、旅館の駐車場はありません。公共交通機関をご利用下さい。



- 《問合せ》 ●研究集会の企画 日本生活教育連盟事務局長  
 鎌倉：03-3420-4353 (和光小)  
 kamakuran@mue.biglobe.ne.jp
- 大会参加 日生連第60回研究集会京都事務局長  
 三上：0771-25-3523 (自宅)  
 mikamika@hb.tp1.jp
- 宿泊・交通機関 JTB西日本 京都教育センター  
 池田：075-252-3100 (JTB京都)  
 y\_ikeda322@jtb.jp

# 第60回日本生活教育連盟夏季全国研究集会申込書 d

インターネット pdf ファイル版 2008.6.7

## 〈申し込み用紙の取り扱いについて〉

- ・申込方法は、この用紙（申込書）のFAX送信&銀行振込です。
- ・該当する欄に人数を記入して下さい。
- ・お仲間で同時に申し込む場合も、住所が異なる方は、お手数ですが、この申し込み用紙だけは、1枚1枚にご記入願います。

送金金額

お名前	フリガナ( ) 男・女	※受付番号(旅行センター記入)
	宿泊される方をご記入下さい ( )歳	
ご自宅	住所(〒 )	
	電 話 FAX	
	e-mail :	
勤務先	勤務先名	
	電 話	
分科会希望番号	生活教育講座希望番号	実技講座希望番号
同伴家族名	氏名 歳 氏名 歳	
	氏名 歳 氏名 歳	

日生連会費	登録更新・新規加入	4,000	2008年度(～2009年8月)分
「生活教育」購読料	年間購読	9,600	送料込み
	半年購読	4,800	送料込み

参加費	教職員	6,000	退職者も含む
	父母・学生	3,000	
	(日生連会員)教職員	5,500	2007日生連会員名簿掲載者
	(日生連会員)父母・学生	2,500	2007日生連会員名簿掲載者
	1日のみ参加(教職員)	2,500	
	1日のみ参加(父母・学生)	1,500	

宿泊費	大人		子ども		乳児		お弁当	
31(木)	11,000	人	6,500	人	2,500	人	1,100	人
1(金)	11,000	人	6,500	人	2,500	人	1,100	人
2(土)	11,000	人	6,500	人	2,500	人	1,100	人
3(日)	11,000	人	6,500	人	2,500	人	1,100	人

2日(土)レセプション	2日(土)宿泊大人	2,000追加	人	宴会食・飲み物
	2日(土)宿泊子ども	1,000追加	人	宴会食・飲み物
	宿泊なし大人	5,000	人	宴会食・飲み物
	宿泊なし子ども	2,000	人	宴会食・飲み物

3日(日)オプションツアー	参加費(大人)	4,000	人	見学料・ガイド料等
	参加費(子ども)	3,000	人	見学料・ガイド料等

子ども学校(小学生のみ)	1日(土) 13時～18時	1,500	人	活動費・おやつ
	2日(水) 9時～18時	3,000	人	活動費・おやつ・昼食
	3日(木) 9時～12時	1,000	人	活動費・おやつ
保育室(3歳～就学前)	1日(土) 13時～18時	1,000	人	活動費・おやつ
	2日(水) 9時～18時	2,000	人	活動費・おやつ・昼食
	3日(木) 9時～12時	800	人	活動費・おやつ
利用児童名	氏名(カタカナ)		男・女	歳
			既往症	
	氏名(カタカナ)		男・女	歳
			既往症	

《備考》 ご連絡・ご要望事項がありましたらお書き下さい。

## 申 込 方 法

申込書をFAXにて送付の上で銀行振込願います

### ☎銀行振込先

三菱東京UFJ銀行 千代田支店 普通5420258  
(株)JTB西日本 団体旅行京都支店

### ☎FAX送付先

JTB西日本 京都教育旅行センター  
担当：池田 075-252-3117

### ☎問合せ電話(9時30分～17時30分)

075-252-3100 担当：池田

## 《問合せ》

### ☎研究集会の企画

日本生活教育連盟事務局長  
鎌倉：03-3420-4353(和光小)  
kamakuran@mue.biglobe.ne.jp

### ☎大会参加

日生連第60回研究集会京都事務局長  
三上：0771-25-3523(自宅)  
mikamika@hb.tp1.jp

### ☎宿泊・交通機関

JTB西日本 京都教育センター  
池田：075-252-3100(JTB京都)  
y\_ikeda322@jtb.jp